

運営統合記念し講義

樽商大など3大学 オンラインで開始

小樽商科大、帯広畜産大、
北見工業大の3国立大学の
運営法人が2022年4月
に統合することを記念する



オンラインセミナーが19日、始まった。初回は帯畜大の助教らが食品安全をテーマに、企業や施設が国際基準に沿った食品衛生管理を行う重要性を

オンラインで講義する帯畜大の窪田助教（手前）（井上浩明撮影）

伝えた。

セミナーはオンライン会議システム「Zoom（ズーム）」で開き、食品会社や農業関係者ら道内外から168人が参加。食品衛生に詳しい帯畜大の窪田さとし助教が同大で講義。スライドを使いながら、食品衛生管理の国際基準「HACCP（ハサップ）」に関する基礎知識などを、1時間半にわたって説明した。

ハサップに基づいた衛生管理は、今年6月から食品事業者らを対象に原則義務化される。窪田助教は飲食店がハサップを導入する際に「提供する料理は加熱して温かい状態、加熱後に冷ました状態など多くの状況で安全性を確かめる必要がある」と解説した。セミナーは計3回開催。

24日に樽商大、3月5日に北見工大でもオンラインで行われる。
(三島今日子)